

# 五稜郭タワー 第43回 函館文化発見企画 講演会 函館市中央図書館 郷土の歴史講座

明治元年から翌2年にかけて道南一帯で繰り広げられた「箱館戦争」は函館の歴史の大きな転換点と言えますが、津軽海峡対岸の青森はどのような状況であったのでしょうか。新政府軍の総督府が設置され兵站基地ともなっていた青森の姿や、「箱館戦争」が町の発展に及ぼした影響等について、青森県立図書館が所蔵する、かつての豪商が残した記録を紹介し、新幹線開業によって青函の交流が深まる中で、青森から見た箱館戦争の歴史的意義を考えます。

平成29年**1月28日(土)** 14時00分～15時30分  
(開場：13時30分)

講師：青森市民図書館 歴史資料室 室長

**工藤大輔 氏**

- 1968年 北海道紋別郡遠軽町生まれ  
2004年 中央大学大学院文学研究科国史学専攻博士後期課程単位取得退学  
1998年 青森市市史編さん室に勤務  
2014年 青森市市史編さん室室長  
2015年 青森市民図書館 歴史資料室室長
- 主要論文 「夷島における近世大名の創出-蠣崎(松前)慶広と豊臣・徳川政権」(『弘前大学国史研究』135号.2013)  
「アイヌ民族との戦いと「北の武士団」」(『北方社会史の視座』第1巻 清文堂出版.2007)  
「(史料紹介)慶長十四年十一月七日松前藩五世慶広申置候事」(『弘前大学国史研究』122号.2007)  
「松前藩領における売薬統制と福山築城」(『日本海域歴史体系』第4巻 清文堂出版.2005)  
「『新羅之記録』の「夷」「狄」表記について」(『中央史学』19号.1996)



会場：函館市中央図書館 視聴覚ホール  
(函館市五稜郭町26番1号)

対象：一般150名  
参加料：無料

※公共交通機関のご利用にご協力ください。

「箱館戦争図」(市立函館博物館蔵)

【申込み方法】電話もしくは、FAX・電子メールで、住所・氏名・電話番号・FAX番号をご記入の上、右記へお申し込み下さい。応募者多数の場合は定員(150名)に達し次第、締切ります。

※応募の際の個人情報は本講演会に関するご連絡以外では使用いたしません。

【申込み・問合せ】  
五稜郭タワー株式会社 講演会担当  
電話：0138-51-4785(9:00～17:00)  
FAX：0138-32-6390  
メール：kimura@goryokaku-tower.co.jp

主催：五稜郭タワー株式会社・函館市中央図書館 指定管理者 TRC函館グループ  
後援：道南ブロック博物館施設等連絡協議会・北海道新聞函館支社・函館新聞社

 **五稜郭タワー**  
www.goryokaku-tower.co.jp

青森から見た箱館戦争